

子どもの教育と福祉・子育てに関するビジョンに掲げる項目について

★平成 27 年度第 1 回日野市総合教育会議にて議論のあった項目は以下の通り

1. 子どもの将来が生まれ育った環境によって左右されることのない社会の実現(子どもの貧困)

子どもの貧困対策は、子ども等に対する教育の支援、生活の支援、就労の支援、経済的支援等の施策を、子育て・福祉部門と教育部門の関係機関相互の密接な連携の下に、総合的に取り組み、子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのない社会の実現を目指す。

2. ひとりで悩まず自信と元気を身につけたひのっ子(不登校・ひきこもり関連)

子どもや若者に様々な社会的体験の機会を増やし、生活でのつまづきをなくし、自信と元気を身につけ、不登校やひきこもりから抜け出せるような支援策を子育て・福祉部門と教育部門の関係機関相互の密接な連携の下に、総合的に取り組み、ひとりで悩むことのない社会の実現を目指す。

3. いじめの未然防止と早期発見・解決

いじめへの対応は、いじめは決して許されないことであるとともに、「いじめは、どの子供にも、どの学校でも、どの地域社会でも起こり得るものである」ことを十分に認識して、子育て・福祉部門と教育部門の関係機関相互の密接な連携の下に、いじめ問題への組織的な対応を図り、未然防止と早期発見・解決に当たります。

4. ひのっ子から日野人への循環による地域創生(地域の自然環境・社会資源・文化・歴史を活かし、郷土愛を育む)

日野市にある河川、緑地、湧水、用水など豊かな自然環境や、大学や企業、地域で活動する団体等、様々な社会資源、地域の歴史や文化を子どもたちの段階的な育ちの中で有効的に活用し、ひのっ子が成長し、やがて郷土を愛する日野人として地域を創り上げていくことを目指す。

5. 本物に触れ、自主性に富んだひのっ子(芸術文化関連)

市内の芸術文化に係る資源の発展や発掘、芸術文化活動を行う環境整備を進め、本物に触れる体験・主体的な活動の充実を図り、「書く文化」、「読む文化」、「創る文化」等、日野市の芸術文化を高めていく。

6. スポーツのレガシー創生

2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催をきっかけとし、子どもや若者が持つエネルギーを余すことなく発揮できる環境整備や、多様なスポーツに関わる機会の充実を図り、スポーツを「する」「観る」「支える」市民を増やしていく。